

新潟県

公民館月報

昭和57年12月号

発行所 新潟県公民館連合会

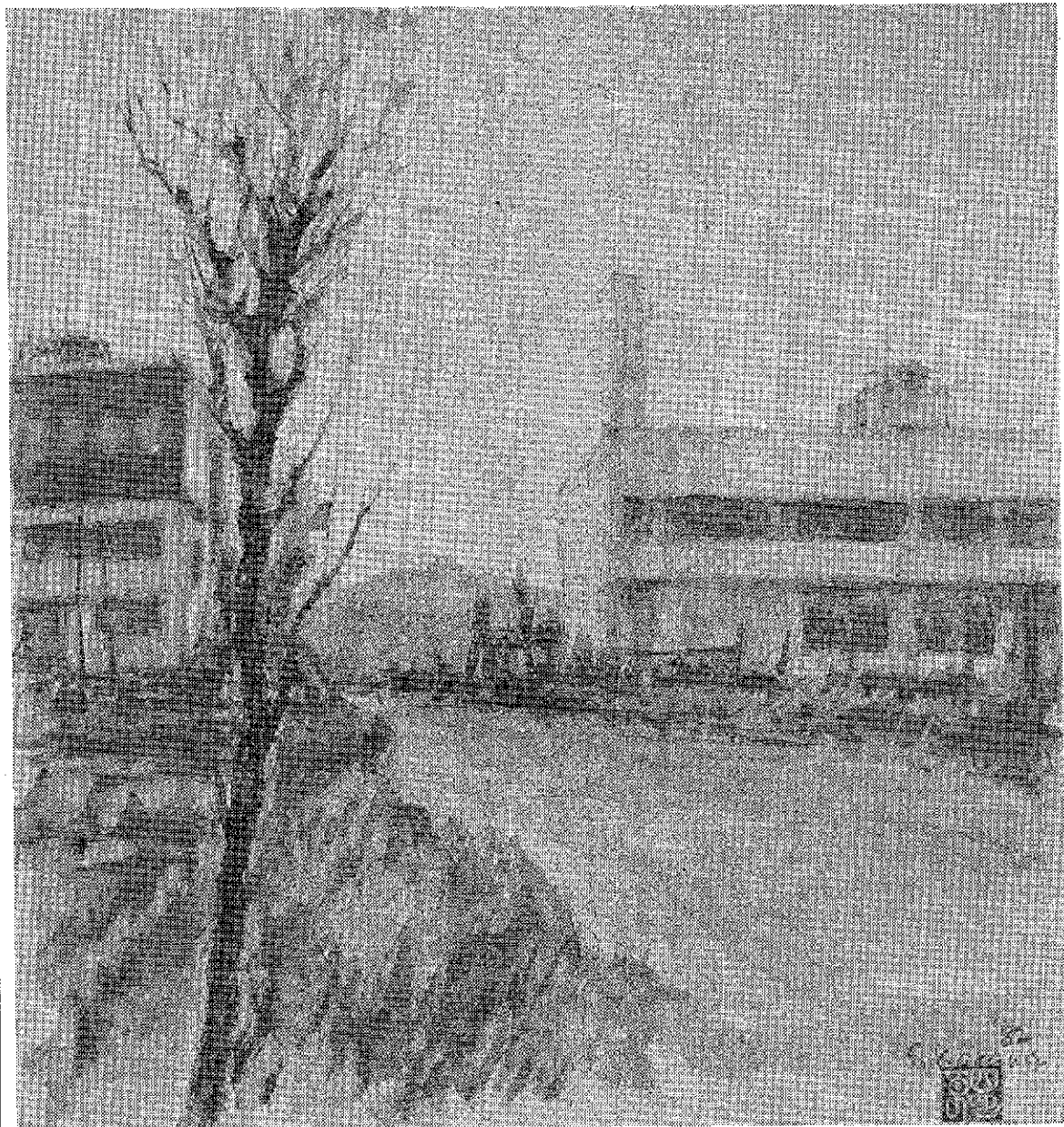
【新潟市川端町2-9・県林業会館内】

【電話・新潟 (0252) 24-6073】【振替新潟 4049】

発行人 会長 石井 耕一

編集人 事務局長 本田 清

【定価1部 100円 年共 1,200円】



米山とはさ木とセンダ

珍らしく淡水産の貝からなる、県重要文化財「刈羽貝塚」は、四千年の昔、すでに刈羽村に先住民が住いした証とされているが、その古い歴史は、豊かな風物と清冽な砂丘の水に恵まれて、この村に於たたく、やさしい人の情を育んできた。

そして、米山が見え、こよくなつかしいはさ木が点在するこの村に、いま新しい文化の象徴が林立している。――役場庁舎、農村環境改善センター、村民体育館、小学校等々――。

それらは、ある意味では新旧の両極にあって対立する存在でありながら、見事に調和し融合して見える。のどかな田園の安らぎと、鋭角的な現代建築の息遣いが呼応しながら、美しいハイモニーを創り出しているのである。古い優れた伝統を踏まえ、絶えず新しい活力の導入と、人づくりに励む刈羽村の人びとの情熱を、痛いほど感じさせるたすまいである。

絵・文 刈羽村公民館運営
審議会委員 片野 四郎

(刈羽中学校長)

課題と展望(2) 第5回全公研修会分科会記録報から

りがみられること。

ウ) 専任の職員が配置されていないこと、又夜間は管理人のみという体制であること

エ) 使用料は行政を除いて総て有料が原則であること、などである。

4. 課題に対する取組みの状況

上記の様な課題に対し、課題解決の手段として次の様な取組みをしています。

ア) 位置が市街中心というために利用者が固定しがちで学習参加者も特定な住民というかたよりも生じることから「集める」から「集まる」の経営に重点をおく様配慮し、地域町内会との接近を図り学習の意欲の触発とその振興を図るための方策として「生涯教育推進モデル町内制度」及び地域婦人団体の育成と活動の振興援助を図る方策として「町内会婦人部活動振興制度」をつくってその振興につとめています。

イ) 生涯学習は相互学習ということから社会教育有志指導者登録制度をつくり自主登録を奨励し研修会の実施をしているがその中から公民館学習に欠かせない講師指導者の発掘活用につとめている。

ウ) 公の施設という原則から公民館の使用料は社教団体であっても有料というところに昨年から条例化したのが、社教団体として町教委に登録して認定された団体の場合は、年間登録料(会員数に応じ)を納入することとした。1年間の反省としては無料の時よりも登録団体が漸増し、使用状況も以前より良くなっている。

エ) 職員の専任化の困難な状況下に於て兼任であっても社教主事、学芸員、司書などの有資格者の配置につとめるようにして補完している(5名中3名が有資格者)

オ) 社会教育施設の相互連携を図りながら事業の共催方式などをとったり、職員の専門性を相互活用などをする様にしている。

5. おわりに

社会変化の激しい今日に於て生涯教育の必要性和社会教育、とりわけ公民館が従来も増してその役割に期待されることが大きく、また、コミュニティづくりに果す公民館の役割も大きいわけであるのでこれに対応しての公民館経営並びに管理でなければならぬと思います。従って、欲する人が欲する事を、「欲する時に行なわれる」のが生涯学習であるとすれば「住民の身近かな所に楽しく利用できる近代的施設で、いつでも相談助言のうけられる職員が配置され、そして人づくり地域づくりのために必要な予算が付き、事業がたてられこれらが効率的にそして有機的に組み合わせて行なう様、公民館の経営と管理に努力したいと思う次第であります。

記録速報

1. 討議された事項

- (1) 公民館の配置、運営と行政当局との関係
- (2) 職員の充実、処遇と研修
- (3) 公民館の財政充実方策

2. 討議内容

(1) について

中央公民館を除いては、地区館が少なく、その地区館に職員が配置されない。また館長が行政当局長の兼務であることが、運営上の困難を生ずることが多い。

(2) 有資格者の主事としての採用が円滑に運ばない例が多い。また超動手当についても、支給ワックに限度があります。また手当だけでは解決しない問題がある。さらにいまの状態では研修の機会を得にくく、また研修方式も整っていない。

(3) 国の補助基準や運用の不備が強く指摘された。またそれ

らに関する事務手続の複雑さが問題とされた。

3. 成果と残された事項

(1) 討議内容から

公民館の重要性、必要性をいっそう明確にしつつ、これが未来像に的確にとらえるようにしていきたい。また職員の研修を各地(郡市)で相互に協力して推進していきたい。

(2) 今後の課題

流動のはげしい現代、行革がらみの背景を考慮し、町村財政にもいろいろの難点が予想されるものの、これを打破していくための研究をさらに続けるとともに、全公連にも格段の工夫と努力を求めたい。

討議内容。対象区域、施設設備、職員配置、サービス、経費および管理について

。これからはどうあるべきか

司会者 静岡県新居町公民館指導課長 金原 戒 雄
 助言者 全公連理事 郷田 実
 基調発表 愛媛県波方町中央公民館係長 木村 孝 雄

1. 経営評価について

公民館は住民のために実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行なうことを目的としているが、今日のように技術、生活水準の向上に伴い人々の平均寿命の延長、余暇時間の増大、学習欲求の増大という社会的現象の中にあつて、管理や運営の近代化、合理化、効率化など評価をし“これからの公民館のあり方”を求めなければならぬなってきた。

そこで、愛媛県では昭和56年度県公連を中心とし全公民館にて経営診断を実施した。

・診断区分……配置、施設、設備、事業活動、職員、職務、行財政

2. 越智郡における経営評価について

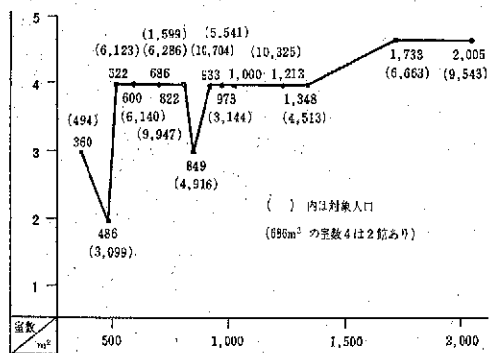
越智郡は今治市をとり囲む様に陸地部5ヶ町村、島しょ部10ヶ町村からなり、総面積371.13km²を有し、総人口89,066人となっている。人口平均約6,000人と少ない。

ア) 公民館施設

各町村には、それぞれ中央公民館(15館)又地区館は郡内に6館を有している。

公民館の建物の面積はすべて“公民館の設置及び運営に関する基準”に達している。

① 集金の施設(ホール、会議室、集金室、読書室、児童室、相談室)



イ) 公民館職員(館長、主事)

公民館は専任館長12人で、うち常勤館長8人、非常勤館長4人であり、兼任館長は3人となっている。又主事は比較的经验年数が少なく、主事、職員も總体的に少ない。

町村における公民館の管理運営の

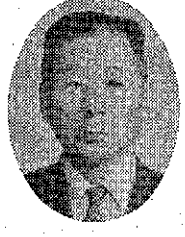
第5回全国公民館研究集会在さる10月13日・14日長野市で開かれ、分科会記録が翌日速報として参加者の手に渡された。

この大会では、管理経営部会13分科会、事業活動部会27分科会が設定され管理・経営・事業活動の具体策について熱心に討議された。ここに内容の一部を要約して紹介していきたい。



このスポーツ
赤葉のために
び日常生活の
仲間づくり及
健康づくり、
教室などで、
運動の役割の
仲間のつながり

ゲートボールは年齢性別、職業に関係なく誰でも楽しみ、からだづくりに役立つ。社会生活にうるおいをもたせる健全な体育レクリエーションと思う。
私どもの糸川市中央公民館でも、このゲートボールを本年度活動の重点項目に入れて、啓蒙普及に努めている。各公民館にこの普及推進にのめり、進いよる明るく、健康的なつながり



ゲートボール

伊藤 佑近

このスポーツは高齢者に限るのではなく、当地区では老人に、若年層にも人気があるようである。区長や公民館館長が中心に、この普及推進にのめり、進いよる明るく、健康的なつながり

このスポーツは高齢者に限るのではなく、当地区では老人に、若年層にも人気があるようである。区長や公民館館長が中心に、この普及推進にのめり、進いよる明るく、健康的なつながり

討議内容 ○対象区域、施設設備、職員配置、サービス、経営および管理について

司会者 福井県福井市中央公民館長 藤永 実
助言者 神奈川県立衛生短期大学教授 田代 元弥
基調発表 北海道白糠町公民館長 森田 正男

1. はじめに
白糠町は釧路支庁の西南部に位置し漁業酪農業林業（かつては石炭産業も）基幹産業とする人口1.5万人の町であります。

2. 白糠町公民館
公民館は、これまで社会福祉センター（S45年建設1590㎡2階RC構造）に併置されていたが昨年に10,000㎡3階建RC構造として新設されました。特徴としては1階が郷土資料館、2階が図書館、3階が講堂と視聴覚ライブラリーの機能をもった施設として整備しております。

職員は館長（社教課長兼務）主事1名（係長兼務）係3名（係兼務）非常勤2名（図書指導員、管理人各1名）の配置となっており分館には、専任職員の配置はなく非常勤の分館長及び管理人1名が委嘱されています。

3. 経営の状況一経営自己診断の結果から
経営にあたっては、経営自己診断は欠くことができないものでありますので、このほど道公協釧路支部（1市8町1村）及び根室支部（1市3町）が協力して各中央館の経営自己診断を静岡県公連考案による方法で実施致しました。

その結果から本町についてみますと、総合点150点に対して、両支部合計しての平均点は67点であって65%となっています。これに対し、本町は73点で総合点に比しては49%と低い結果となっています。診断項目は30項目であるがそのうち本町は、3点以下は18項目に及び特に低いのは、公民館の位置、事業活動、職員配置があげられる。即ち

- A) 本館は市街地中央に1館あるのみで分館が地域的にあっても機能が整備されていないため全町を対象としていること。
- イ) 事業活動は主として文化活動に関するものでかたよ

公と民むすぶ パイプ・公民館

公民館番頭日記 (19)

さうそう市長秘書をとおして申し入れをしたところ、十月三十日の恒例の公民館研究大会終了後、市長さんを迎えて全市の公民館長と市各支地区コミュニティー組織の代表者による「公民館、コミュニティー振興懇談会」を開くこととなり、この懇談会が今日めでたく成功裡に終了した。

この旅行の時、館長さん方の原宿を中心とした懇談会があり、参加者十三名の自己紹介の後、懇談となった。紹介の後、懇談となった。紹介の後、懇談となった。紹介の後、懇談となった。

十一月十七・十八日、市長さんから柏崎市の公民館、ミニテイエ施設整備計画案の原宿を中心とした懇談会があり、参加者十三名の自己紹介の後、懇談となった。

この旅行の時、館長さん方の原宿を中心とした懇談会があり、参加者十三名の自己紹介の後、懇談となった。

課題と展望(3) 第5回全公研修会分科会記録報から

ところ、「住民サイドの公民館」というより「団体中心型公民館」になっており、公民館本来の目的からして検討を要する問題点の一つにあげられよう。

そのほか、公民館内に社会教育課が併設になっており、そのことは一見事業遂行面で利便性があるように思われるが、公民館の自主性・独自性の確立の上からも、また行政と施設の役割及び相違点をはっきり認識する上からも望ましいことではないと考えられる。

●職員は、館長(教育長兼任)1名、公民館主事(常勤)1名、事務主事(常勤)1名、社会教育指導員(非常勤)1名の計4名で、そのほか宿直監視員、清掃用人、技術職員、半日職員各1名が委託事務で従事している。公民館運営審議委員は12名(男8名、女4名)である。

問題点としては館長が教育長兼務であるため、公民館の自主性、独自性が、公民館設立12年を経た今日、いまだに確立されていない点と公民館主事の身分も一般事務職扱いであり公民館の管理経営、事業遂行全般におよぶ重責ある職務面からして、職員の身分取扱いや配置については慎重に対処すべきである。また社会教育課が公民館内にあるため、実際の職務(事業)遂行の上で、社会教育事業、公民館事業が不明確になり、行政(社会教育総務)の職員なのか施設(公民館)の職員なのか区別がつかない面が多い。

ほかに直接上司である館長が教育長兼務のため特に社会教育総務の職員間の上司・下司関係もすっきりせず、事業の計画立案、実施、予算執行面の決裁等で困ることが起っている。教育委員会と公民館は緊密な連けが必要であるが、しかし、行政と施設の基本的な役割分野や相違点は両方しっかり認識する必要があるのではないか。

●施設管理面では、開・閉館の時間の問題と休館日、土、日、祝祭日の取扱い対応の問題である。

「公民館規則」では公民館は午前9時開館、午後9時閉館となっているが、実際には閉館時間は午後10時が公然となっている。また職員は5時までの勤務なので、午後5時～10時までの利用・対応については実質には利用者側の自主管理という形になっており、問題点である。「休館日」についても規則では毎週日曜日と定められているが、実際には利用に応じて職員不在の開館の形になっている。ただし、平日については午後5時以降翌日午前8時30分までは宿直監視員が管理し、土、日、祝祭日についても半日職員を置き施設管理の対応を取っている。

●経費(予算)面については積算基礎に基づく予算獲得をふまえながら社会教育の“人づくり行政”という特性から弾力性ある予算措置を村当局に望むと同時に、村づくりを進めていく上での行政の要が社会教育の振興にほかならないことの理解を求めることができる。

2. 課題

- 公民館は団体中心でよいのかどうか
- 村段階で公民館の独立機能は困難なのか、その必要ないのか
- 時間外の管理を自主管理でよいのかどうか

●公民館職員専門性身分位置づけ等の望ましい方向は

●対象区域の見直し(地区館・分館の設立促進)

●公民館の近代化構想

3. 展望(まとめ)

●公民館の振興発展のカギはいろいろな要素が必要の中で最も重要なカギをにぎっているのは職員であると断言したい。人材にめぐまれた公民館をたとえ財政施設にめぐまれてなくとも、しっかりと地域に根をはった活動を展開しているものである。公民館のゆくえを職員の心意気のみによだねるのも問題ではあるが、しかし、現実には公民館の振興発展は職員の双肩にかかっているといっても過言ではない。

公民館の振興方策は一にも二にも人材育成にあると声を大にして訴えたい。

社会教育や公民館活動が無形行政といわれるごとく“人づくり”が究極の願いであるかぎり、それにたずさわる職員の“人づくり”が、今、最も急務ではなからうか。

記録速報

1. 討議された事項

- (1) 教育委員会と公民館の関係
- (2) 公民館の配置、管理、経費
- (3) 職員の配置

2. 討議の内容

- (1) 公民館の中に社会教育課が入っている方が町村レベルではロスが少ないと思う。
 - ・それが行政の本来の業務が住民の社以教育活動は公民館が育てるべきだ。
- (2) 公民館は小学校区毎に設置すべきだ。
 - ・町村長部局で類似施設の整備を進めても、あとの維持管理は公民館にまかせるケースがふえている。
 - ・財政当局は使用料をとれと主張するが社会教育の立場からは抵抗せざるを得ない。
- (3) 職員の中には公民館勤務をきらう風潮がある。
 - ・公民館勤務で多くの住民と知りあい、地域の実情も理解でき、行政マンとして有益
 - ・種々の文化施設のネットワークをシステム化、公民館が地域づくりの拠点として主導権がとれるようになるためには優秀な人の配置が必要である。

3. 成果と残された事項

- (1) 討議で明らかにされた事項
 - ・公民館は教育委員会の組織の一つであっても社会教育課の行政事務とは明確に区別し、地域住民の学ぶ者の立場で事業展開をすべきである。
 - ・使用料—自主グループは無料、貸館は有料、夜間の照明は有料のところが多い
- (2) 今後の課題と残された事項
 - ・資料の中には前回の討議の記録が記載されているが、参加者が毎回新しく討議も前回のくり返しになりやすい。参加者が各自の悩みを出しあい、前回の内容を理解した上で更に内容を深め討議の積み重ねが必要である。

公民館関係法令・解説

公民館長・公民館主事・公民館職員・公民館運営審議会委員・社会教育主事・社会教育委員・教育委員会関係者・公民館を利用する人・社会教育関係団体関係者等の必携の書として広く活用されています。

◎内容

教育基本法・社会教育法・社会教育法施行令・公民館の設置及び運営に関する基準規程・通達「公民館基準の取扱いについて」解説つき。

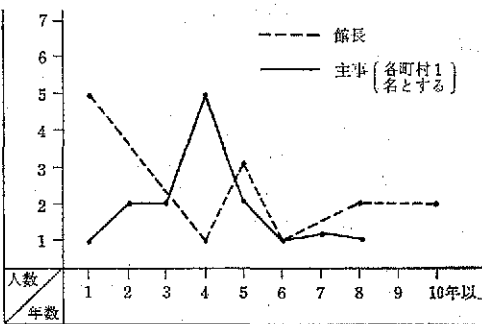
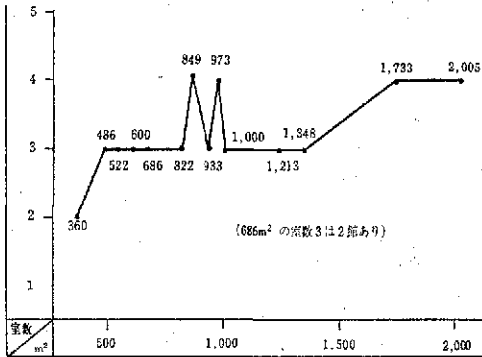
A 5判34ページ 1部 300円(送料実費)

◎お申し込み先

〒951 新潟市川端町2-9 県林業会館内
 県公民館連合会事務局 電話 0252(24)6073

町村における公民館の管理運営の

② 学習の施設(講義室、実験実習室、図書室、展示室、視聴覚室)

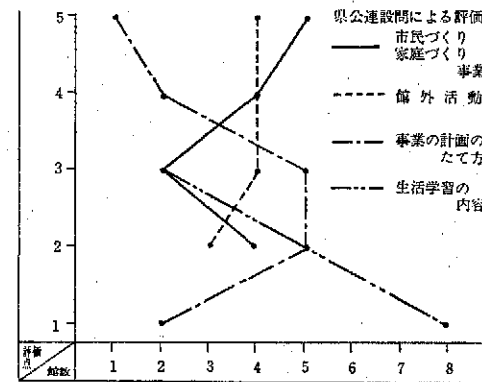


ウ) 行財政

各町村の一般行政の総額に対する教育費の割合は約3%程度が多く、又教育費総額に対する社会教育費の割合は30~40%である。

エ) 事業活動

市民づくり、家庭づくり事業や、館外活動は比較的高い評価があらわれている。



3. 越前郡における今後の課題

ア) 施設、設備の充実について

- ・集会、学習施設の整備
- ・管理施設の整備

イ) 職員配置と職務について

- ・公民館長の常勤化
- ・主事の資質の向上と職員数の充実

ウ) 事業活動について

- ・住民参加の事業企画
- ・地域にあった事業
- ・生活に密着した学習

4. むすび

環境の醸成や条件整備、各種の活動、行事、学級、講座等を地域の実態に合った設問にし、その評価を正しく認識して、改善するところは改善し、よりよい公民館づくりをめざしたいものである。

記録速報

1. 討議された事項

- イ、勤労青少年、成人教育の具体的な方策
- ロ、開館日、休館日設定の問題
- ハ、効果的な職員の配置は
(財政的制約もあることだし)

2. 討議の内容

- イ、勤労青少年の集りやすい時間帯、方法を
(現代青少年の指向を充分配慮した上で)
- ロ、成人者のプライドと存在意義を尊重して
町づくりの中心的推進者として活動は積極的となる。
- ハ、地域の実態に合わせて考慮
過剰サービスはどうか。
代休制の問題、時間外手当の問題
- ニ、館長の専任制を急ぐこと
主事の増員を〇〇町長部局からの出向者は一定期間を確保のこと
国の財政的裏付けを確立すること。

3. 成果と残された事項

- 全公連において、社会教育法の改正
特に公民館に対する財政の手当を確立すること
(交付税の中に明確)

討議内容 ○対象区域、施設設備、職員配置、服務、経費および管理について
○これからどうあるべきか

司会者 愛媛県双海町中央公民館主事 若松進一
助言者 公振連副会長 足高晋
基調発表 沖縄県読谷村中央公民館主事 比嘉正勇

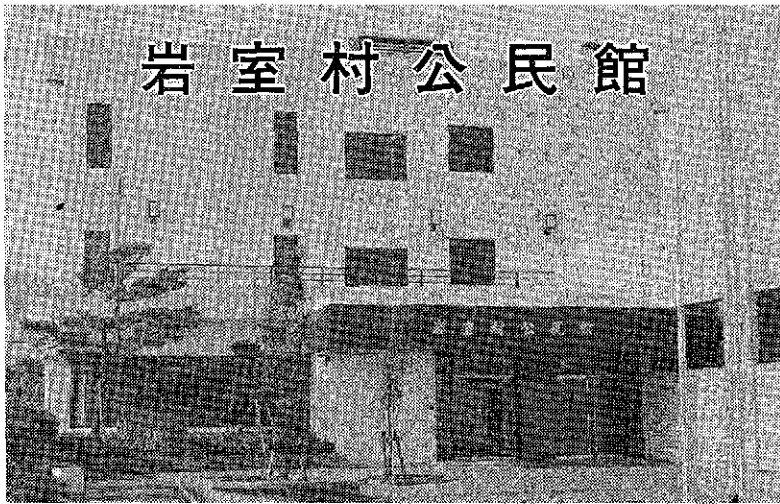
1. 現状

●昭和45年に県下第一号の公立公民館として誕生した本村中央公民館も現在では県下30余館の公立公民館中最も小規模(832㎡、2階建て)の中央公民館である。

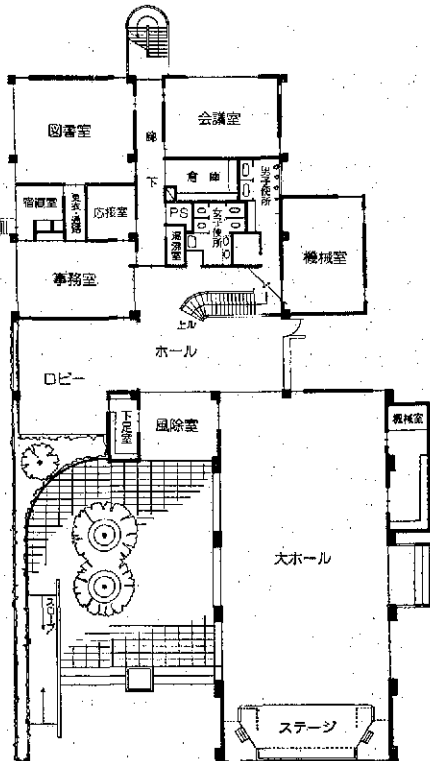
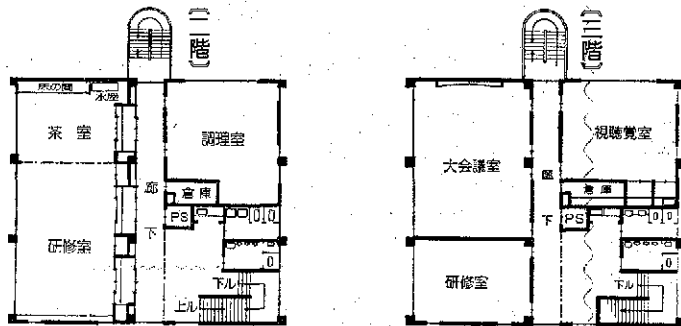
しかし、県下でいち早く公立公民館を設立し、今日まで村民と共に地域と共に培ってきた公民館活動は誇りにすべきと自負している。今では中央公民館が広く村民や各種関係団体機関に利用され、自治公民館同様、地域へ定着してきた。とは言え、本村中央公民館にどうしても克服したい面があり苦慮している。それは施設設備の面で村全域人口27,000余人を対象とする公民館としては、1館のみということはもちろん、規模が小さくまた、施設設備も乏しく地域住民に十分に対応できないという点である。施設設備の不十分(増改築が敷地関係で困難)に加え、公民館が村の北部地域に位置しているため、地理的や交通面からも村全域の村民に等しく利用してもらうにはむづかしい施設となっている。

当然の結果として村民個々の利用にムラが生じ、個人学習のための利用ができず、利用の中心が子ども会、青年会、婦人会、老人クラブ、各種グループサークル等や役場関係となっている。だから本村の場合、公民館の役割を2分して①自治公民館は地域住民と直接接し対応する公民館として②中央公民館は自治公民館をはじめ、各種社会教育関係団体機関の連携や連絡調整をはかる場として方向づけ、現在はその方向で公民館運営がなされている。本村の公民館は現在の

岩室村公民館



- ◆構造 鉄筋コンクリート造、一部3階建
- ◆敷地面積 3,500㎡
- ◆建物面積 延面積 1,740.9㎡
- 1階 会議室 54.72㎡ 講堂 369.46㎡ 図書室 72.19㎡ 応接室 16.14㎡ 事務室 52.35㎡ 控室 6帖 コピー 70.67㎡
- 2階 研修室(和室)52帖、茶室24帖、調理実習室 75.80㎡
- 3階 研修室 57.0㎡ 大会議室 104.80㎡ 視聴覚室 67.80㎡



意識調査を実施

これからの運営に生かす

新生公民館繁盛記

(25)

公民館は花ざかり、これまでにすでに三十二館の公民館が登場。好評をいただいています。これからもどしどしご紹介いたします。

岩室村公民館は、役場庁舎の二階を間借りしての公民館であり、昭和五十五年一月に全村民の願いが実現し、待望の鉄筋三階建て

の、自らの文化の殿堂が完成し、これに接続して、五十六年四月体育館が完成した。さらに、村民野球場、テニスコートと相まって、しかもこれらの施設が一か所に集中管理され、有機的な連携のもとに効果的に活用されている。岩室村二万人村民の生涯教育の拠点としての公民館に対しては、日ごと住民の関心が高まり、利用者も年々増加している。当館も学級講座の開設、講演会、各種行事を行い、また、各種団体の集客活動の場を提供している。本年特筆すべき仕事は「村民意識調査活動」である。

ご存知のように、公民館・体育館などの施設が飛躍的に整備されたことである。初めて参加

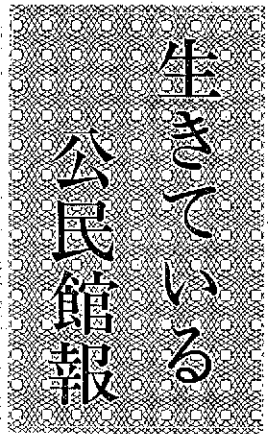
れ、これらの施設に対する村民の意識については、私自身にも約一、〇〇〇名の会員数を誇り、あらゆる機会を通じて、映画会、視察旅行、文化祭での力では、是はしているが、とくに主要な調査の必要性を考へ、無作意抽出による各年代別人口一、〇〇〇人に対し、質問紙調査による方法を実施した。

回収率は六八・二％であった。これらの調査結果をふまえて、現状を分析し、問題点を明らかにし、村民の意見を十分に反映させ、社会教育・社会体育のよき活動の資料にしたいと考へている。次に本年度の新しい活動を三つほどあげてみる。

一つは新生婦人会の誕生である。今までの旧村地区単位の婦人会が一つに統合され、連合組織に改組されたことである。初めて参加

- ◆
- ◆
- ◆
- ◆

(岩室村公民館館長 村刈 浩)



生きていく 公民館報

こくぶんかん

こくぶんかん

東京都の公民館は、いわゆるドーナツ型で周辺の衛星都市の方に充実している。その充実度は、おのずから公民館報に反映しハイレベルのものが多い。

その一つ、区分寺市公民館報「こくぶんかん」・こくぶんかん」の編集は洗練されている。内容は、利用者懇談会の結果・女の生き方を考える・平和について考える講座など、それぞれの地区館ごとに特徴ある活動が登載されている。また、多様なグループのそれぞれの活動ぶりが、きめ細かく手際よく掲載されている。全体に活発な公民館活動のようすがうかがえる。

公民館の位置と周辺施設の地図。また、公民館の建物写真と詳細な案内が掲載されている。

青年教室

「生きる」と書くこと

「生きる」と書くこと、それは、自分自身をどう生きるか、という問いかけから始まる。この問いかけは、時代や環境によって変化する。しかし、その問いかけは、常に私たちの心の中に存在している。

本日は、この問いかけをテーマとして、自分自身の生き方を考える。書くことは、考えるの過程であり、生きるためのヒントを見つけることでもある。

講師：佐藤 健一氏

第18回光ハイキング

12月16日(日) 10時集合

コース：石老山(894m) 展望台

参加費：500円

申し込み：12月10日まで

相模湖の展望台

石老山 (894m)

中央部山脈から北に伸びる尾根が、相模湖を一望できる。石老山は、その尾根の頂上にある展望台である。相模湖の美しい景色を堪能できる。

12月10日(日) 10時集合

申し込み：12月5日まで

多摩文学散歩 第9回

井の頭公園から禅林寺

12月16日(日) 10時集合

コース：井の頭公園 禅林寺

参加費：500円

申し込み：12月10日まで

文化映画の集い 第15回

「やきもの」の世界II

12月16日(日) 10時集合

上映：「やきもの」の世界II

申し込み：12月10日まで

若い父親のための講座 ④

共働きと子育て(1) 一母親の立場から

12月16日(日) 10時集合

講師：佐藤 健一氏

申し込み：12月10日まで

出雲崎町中央公民館主事

磯部 友記雄氏 (38才)

「先生お早うございます。小学生から声をかけられる役員職責は、そろそろにもあるものではない、結婚は八年前、長岡警察署勤務、美人交通指導員であった美さんを迎え、漸く一児の父、子どもに好かれるタイプ、ショッピングの対話の中に社会教育への興への余韻が残る、昭和四十七年、秋田大学での講習の後、主事就任時今ほどき原下でもモテテラン主事であった高橋主事の訓諭をうけて、その後任として活躍している。性来々々も好き、親子文庫、子どもたちの卓球、柔剣道教室、室を築き、得意とは思われたいスポーツ活動も子どもとともにもやり、今は有資格者、何と言っても青年たちへの働きかけ、崩れかけた青年団活動に、同僚の密水主事と協力、毎年成人式を迎え若人学級を開設してあげる。

新築なった中央公民館を中心とした活躍が、大々期待されています。

(出雲崎町中央公民館長 小林 睦彦)

プロフィール

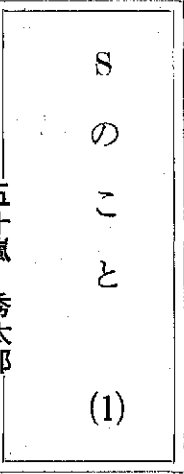
出雲崎町中央公民館主事 磯部 友記雄氏 (38才)

先生お早うございます。小学生から声をかけられる役員職責は、そろそろにもあるものではない、結婚は八年前、長岡警察署勤務、美人交通指導員であった美さんを迎え、漸く一児の父、子どもに好かれるタイプ、ショッピングの対話の中に社会教育への興への余韻が残る、昭和四十七年、秋田大学での講習の後、主事就任時今ほどき原下でもモテテラン主事であった高橋主事の訓諭をうけて、その後任として活躍している。性来々々も好き、親子文庫、子どもたちの卓球、柔剣道教室、室を築き、得意とは思われたいスポーツ活動も子どもとともにもやり、今は有資格者、何と言っても青年たちへの働きかけ、崩れかけた青年団活動に、同僚の密水主事と協力、毎年成人式を迎え若人学級を開設してあげる。

あの頃のこと

S の こと (1)

五十嵐 秀太郎



Sは茶のみ茶碗の冷酒をシイ
と飲むがねえ、おら、やっほり
どん百姓で暮らさんだ。」

「しつがねえ、おら、やっほり
どん百姓で暮らさんだ。」
と叫ぶやうに言つて天井を見つ
た。その目にキラリと光るものが
浮かびあがり、そのほろを流れ
た。つらねるやうに余の好きな
い酒を、また、口に運んだ彼は
彼の涙を見ると、思わず目頭があ
つくなつて、そっとハンケチで涙
をぬぐつた。

昭和十一年、師範学校を出た私
は、近くの村の小さな小学校へ赴
任した。そこでさう知り合つた。
同じ大正五年生まれであることが
二人を親密にした。

「先生、一度先生の宿へ遊びに行
つてもいいかね。」

冬、青年団の集まりの時、彼は遠
慮なく「さうだ。」

「いひやうすま、いひやうすま、」
農村の人たちのくせで、また、長
々とだらだらと話を相手をしてら
れるのか、うんざりしたが、私は
たのまれるも断れないたちであ
る。

二、三回しては酒を一本おら
さけてもつて来た。二人で冷や酒
をくみ交わしながら、文学のこ
と、人生のこと、世相のことを

話もあつた。彼は仲々の論客であ
り、よく勉強もしていた。
「よく勉強していますね。あなた
のような人間を農村に埋もれさせ
てしまつては惜しいですね。」と
いう。

「先生、おれのようなものを相手
にしてくれてありがとうございます。自分の
ことを少ししゃべつてもいいです
か。」

「は水のど百姓の長男として生
まれた。小学校では同級生に同那
衆の子供も居たが、勉強では彼の
相手ではなかつた。一年からす
と直席で卒業した。旦那様の子は
進学した。然し、彼にはこれ以上

高橋 ハナ著



筆者 紹介

昭和十一年高田師範卒の後、
して県内小中学校教諭、教頭、校
長を歴任、その間県教育庁中魚田
出張所嘱託、県立教主事十一年余の
経験をもつ。退職後もその豊かな
識見をわけて、五年間小千谷市公
民館長として活躍、現在も同市
書館長、アイヌ関連地名に詳しい
文化人。



女たちの越えてきた道

女たちの越えてきた道

自立への旅立ち

「女たちの越えてきた道」自
立への旅立ち―最も混乱の激し
かつた昭和二十年代のさなか、
地域婦人会員のひとり一人が、
この激動の時代をどのように切
りひらき、新しい生活をたて直
していったかというこゝについ
ての具体的な証言集であり、ド
ラマチックな女性生活史である。
著者の高橋ハナさんは、当時
県教委の婦人担当の社教主事と
県林業会館内 県公民館連合会

「女たちの越えてきた道」自
立への旅立ち―最も混乱の激し
かつた昭和二十年代のさなか、
地域婦人会員のひとり一人が、
この激動の時代をどのように切
りひらき、新しい生活をたて直
していったかというこゝについ
ての具体的な証言集であり、ド
ラマチックな女性生活史である。
著者の高橋ハナさんは、当時
県教委の婦人担当の社教主事と
県林業会館内 県公民館連合会

「女たちの越えてきた道」自
立への旅立ち―最も混乱の激し
かつた昭和二十年代のさなか、
地域婦人会員のひとり一人が、
この激動の時代をどのように切
りひらき、新しい生活をたて直
していったかというこゝについ
ての具体的な証言集であり、ド
ラマチックな女性生活史である。
著者の高橋ハナさんは、当時
県教委の婦人担当の社教主事と
県林業会館内 県公民館連合会

「今日先生は所へ泣きに来たよ
うです。先生が、」
と聞いて、一階に降りてく
た。そこで、私の心のわたかまりが
取れた。今、今夜のことは一
生にないでしょう。」
といひ、Sは帰つて行った。
時計は十二時を過ぎていた。半世
時計は昔の思い出である。
あとがき
十一月末、日本白鳥の会会員
六名を引き連れ、韓国、渡来ハ
クチウを視察してきました。
渡来地のこと、韓国、渡来江の河
口は、寒風が吹きつげ、マイナス
十五度、たまには、おかしな
が、オオハクチウ、ヒシヤ
イなどの大蛇の渡り鳥が舞
つておりました。
河原には、また、音原が広が
つておりました。「白鳥の花」に
入りました。公民館の壁に
「の景観」に接することができ
ました。公民館の壁に
心算の、原野を見つて、
たしました。(本) 先月号表紙
絵説明文、国水に口直し。